



継承から創造。地域の宝を未来のまちづくりへ

～清水門・南湖公園・大木家住宅...歴史的資源を次の世代につなげる～

清水門復元整備事業



▲清水門本体の工事の様子

白河市が取り組む「歴史的風致維持向上計画」が着実に実を結びつつある。街のアイデンティティである史跡の整備から、子どもたちの交流の場の創出まで、今まさに白河のまちづくりが力強く進んでいる。本紙では、その取り組みを紹介する。

小峰城が名城としての佇まいを整え、より多くの方々に白河の歴史・文化を堪能していただけるよう、三重櫓・前御門に続き、清水門の復元に取り組んでいる。

令和7年度は、清水門本体の建て方・小屋組み・屋根瓦葺き・壁や床の下地工事、塀の基礎・建て方・瓦葺きの工事を行った。

南湖公園史跡整備事業



▲整備が完了した北東部の園路



▲整備が完了した園路照明

現在、1,000円を「一石」とし、白河藩最大石高15万石にかけて寄付を募る「小峰城一石城主」プロジェクトを立ち上げている。

詳細は下記QRコード又は市文化財課まで。
☎024812815535



近年、南湖公園はカフェやスイーツ店の進出により観光客が増加しており、若者からシニアまで集う場所へと変貌を遂げている。

このような中、さらに史跡名勝としての価値を高めるため、平成29年に策定した『史跡名勝南湖公園整備基本計画』に基づき、園路整備や水質、植生の改善に取り組んでいる。

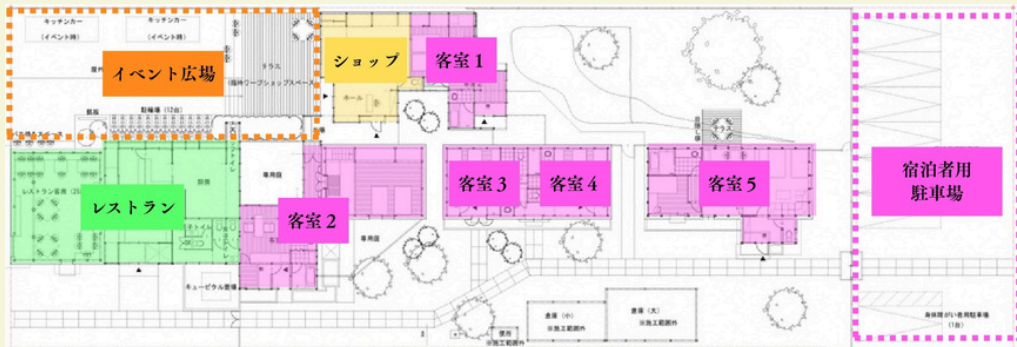
令和7年度は、来園者が快適に過ごせるよう、北東部の園路と照明の整備を行った。

また、引き続き福島大学・日本大学工学部との共同研究を実施し、湖内の水生生物の調査や管理手法の検討も行った。



▼活用プラン案

▲大木家住宅建造物群



よみがえれ! 歴史的建造物活用事業

白河市には、歴史的な建物が多数あるが、老朽化などにより取り壊されるケースも出てきている。このことから市では、歴史的な建物やその風情を後世へ引き継ぐとともに、城下町エリアの面的な活性化につながるため、保存するだけでなく、改修し活用することを推進している。

その第一弾として、令和6年度から、市内天神町の大木家住宅を分散型ホテルやレストランなどに活用する計画を進めている。

令和7年度は、基本設計業務を行い、活用のイメージがより具体的にできるよう取り組んできた。

歴まちカードを配布しています

歴史・文化のいきつくまち 白河



東北地方には「歴まち認定都市」が14都市あり、各都市で「歴まちカード」を配布している。

白河市の配布場所は、旧脇本陣柳屋旅館蔵座敷（白河市本町66）。

※開館時間・休館日などは市HPを確認してください。

白河かるたを通じたふるさとの歴史・文化の学びや、学年・学校・地域を越えた交流の創出を目的として、小学生を対象としたかるた大会を開催しており、第3回大会は令和8年2月14日に開かれた。

低学年（1〜3年生）の部23名と、高学年（4〜6年生）の部30名が参加。

3代目チャンピオンに輝いたのは、高学年の部「チーム白二」



第3回白河かるた大会

読めばあなたも「白河通」

公式テキスト発売中!

しらかわ検定の公式テキストとしてもお馴染み。各800円（税込）で絶賛販売中。



未来の白河かるた大会のチャンピオンは君だ!
家族や友達と一緒に遊ぼう。
1,000円(税込)で絶賛販売中。



「れきしら」「白河かるた」販売場所

- 白河観光物産協会
- 二ノ丸茶屋
- 翠楽苑
- 白河関の森公園
- ららマルシェ（マイタウン白河内）
- 福島県文化財センター白河館（まほろん）
- 金子書店
- 昭和堂書店
- 関屋書店
- 東京第一ホテル新白河
- 表郷商工会
- 大信地域市民交流センターひじりん館
- きつねうち温泉